

平成27年度公益社団法人越谷市シルバー人材センター

事業計画書

「人口減少・超高齢社会」を迎えた我が国は、今後5か年の目標や施策の基本的、具体的な方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をまとめ、平成26年12月27日に閣議決定されました。また、第百八十九回国会における安倍内閣総理大臣の施政方針の中では、「柔軟かつ多様な働き方」について、「高齢者の皆さんに、多様な就業機会を提供するシルバー人材センターには、更にその機能を発揮してもらいます。」と演説されています。

本年度は、これらのことを念頭に関係団体と連携し、積極的に当センター事業を展開していく必要があります。

一方、公益法人化以降、法令遵守による適正就業の強化に伴う民間企業の請負・委任の契約減少が続く、本年度より国庫補助金がシルバー派遣事業を前提とした組み立てに変化しております。

このような状況の下、本市の都市構造の特徴を活かしつつ、生涯現役社会の実現に向け、新たなシルバー事業の推進に努めてまいります。

また、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立」の組織運営と「共働・共助」の事業展開をより一層図り、会員一人ひとりの理解と協力を得て、地域社会に信頼され魅力あるセンターを目指し、以下の事業を実施してまいります。

I. 基本方針

- 1 「会員の拡大」と「就業機会の確保」に全力を注ぎ、事業規模の拡大を図ります。
- 2 シルバー派遣事業を実施します。
- 3 安全就業・安全管理を徹底して、「事故ゼロ」を目指します。
- 4 ボランティア活動等を実施して、地域貢献を推進します。
- 5 センター事業の将来を見据えた運営体制の充実強化を図ります。

II. 重点目標

基本方針達成のために以下の事項を重点的に行います。

1 事業規模の拡大

(1) 会員の拡大

- ①組織委員会が中心となり、毎月センター事業の説明会を実施し、新たな入会者の確保に努めます。
- ②入会説明会の開催を広く周知するために、市広報へ記事を掲載すると同時に、説明

会案内チラシを市内各地区センター等に配置します。

また、特に会員数の少ない地域には、チラシを戸別配布して会員拡大を図ります。

- ④受注の多い職種（植木剪定、襖・障子張り、除草、修繕関係等）については、後継会員を確保して即応できる体制づくりに努めます。
- ⑤会員や仕事を求める高齢者に、就業促進や雇用の相談に随時対応します。

（２）就業機会の確保

- ①就業開拓委員会を中心に、受注開拓と新規事業の開発に努めます。また、役員等による得意先訪問を実施して契約維持と受注拡大に努めます。
- ②就業開拓創出員による、事業所、一般家庭等への積極的な訪問活動を継続して行い、就業機会の開拓と提供を図ります。
- ③地域の人手不足分野に対応するとともに、会員の多様な働き方の選択肢を確保するため、一般労働者派遣事業（シルバー派遣）を積極的に展開します。
- ④会員自らが「宣伝マン」として、就業時等にサービスメニュー表を発注者の近隣に配布して受注拡大を図ります。
- ⑤会員入会時に実施したアンケート調査を参考にして、会員の資格・免許・特技を活かした職種の展開を図ります。
- ⑥日常生活支援サービスとして、住まいに関する職種と体制の充実を図り、高齢者世帯の日常生活の手助けを積極的に実施します。
- ⑦老人福祉センター「くすのき荘」内で実施している高齢者向けのカルチャー教室（実用書道、パソコン）事業の内容充実を図ると共に、新規教室事業の開発に努めます。
- ⑧女性会員による清掃便利用品等の作成及び販売をして、女性会員の仲間づくりを図ります。
- ⑨お客様の満足度調査を実施し、より喜ばれる作業の提供を目指します。

（３）適正就業の推進

- ①法令を遵守して就業内容や就業形態を点検し、発注者にセンター事業のしくみを正しく理解していただきながら、適正就業の推進に努めます。
- ②業務委員会を中心に、多くの会員に就業機会を提供するため、ワークシェアリングやローテーション就業を推進し、未就業者の解消に努めるとともに適正で公平な就業体制を図ります。
- ③有料職業紹介事業の実施
高齢者の「臨時的かつ短期的な雇用又はその他の軽易な業務に係る雇用」による有料職業紹介事業に対応します。

（４）研修会・講習会の実施

- ①組織委員会により、新入会員を対象に、就業上の心得に関する基礎研修と、挨拶や身だしなみ等の基本的な接遇研修を実施します。

- ②技能を要する職種（植木剪定、襖・障子、筆耕等）を希望する会員を対象に、技能の習得に併せて、就業に関する基本的な研修を実施します。
 - ③すでに技能職種で就業している会員には、技能向上に加えて、安全、接遇を含めた仕事別グループ研修会を実施します。
 - ④家事サービスを希望する会員を対象に、家事グループの就業のしかたに関する基本的な講習を実施し、受注に対応できる体制を整えます。
 - ⑤すでに家事サービスで就業している会員には、技能向上や接遇を含めた基礎研修とステップアップ研修等を開催します。
- また、連絡会を継続実施して、情報交換や問題解決を図り、交流機会の場の充実に努めます。

（５）普及啓発活動の実施

- ①広報委員会による、機関紙「シルバーだより」を発行し、会員及び広く市民への情報提供とPRの場として活用します。
また、会員向け機関紙「広報ふれあい」では、理事会及び各委員会の活動状況やお仕事情報など、センター情報をお知らせします。
- ②ホームページをリニューアルし、第2の窓口として各種センター情報の随時更新と提供に努めると共に、ホームページや事務所の掲示板を活用して仕事情報を掲示します。
- ③関係機関や地区センター等にパンフレットやチラシを随時配布します。
- ④市広報紙及び報道機関へ記事の提供並びに取材に協力します。

2 安全就業・安全管理の徹底

- ①安全管理委員会において、安全就業推進計画を策定し、安全管理の着実な実施に努めます。
- ②安全研修会の開催や安全パトロールを実施し、安全就業意識の向上を図ります。
- ③自主的な定期健康診断の受診指導や日常生活における健康管理の徹底を図ります。
- ④「シルバードライバードック」「自転車安全運転講習会」への参加を奨励して、交通ルールの遵守および交通安全の意識高揚に努めます。
- ⑤就業別の安全チェックリストの活用等、自主的な点検体制の整備を進めます。
- ⑥機関紙等で定期的に安全就業、健康管理、交通安全について啓発します。
- ⑦安全標語を募集し、会員の安全に対する意識啓発をします。

3 地域貢献活動の拡充

- ①保育所のクリスマス会でのサンタクロース役、学童保育室での営繕（網戸張替え等）や、公共施設の除草・清掃等のボランティア活動を実施し、市民の役に立ち喜ばれる地域貢献活動を推進します。
- ②「越谷市民まつり」や「こしがや産業フェスタ」などのイベントに積極的に参加し

て、会員力を活かしたセンター事業のPRを図るとともに、まちおこし事業の協力を努めます。

- ③単に就業することのみを目的とせず、センターの公益的事業（ボランティア）活動を理解していただける方への入会を推進します。
- ④「認知症サポーター養成講座」を公益的に一般市民に対して開催し、認知症に関する情報を提供していくものとします。
- ⑤高齢者を対象にした「健康講演会及び体力測定会」を開催し、健康増進を図ります。

4 運営体制の強化

- ①総務、事業の2部会と総務、組織、広報、業務、就業開拓、安全管理の6委員会が中心となって、また、適時必要なプロジェクトを編成し、中長期計画及び本年度事業計画に基づいた活動を実施します。
- ②事務局業務への会員参加と事務の効率化を図り経費節減に努め、安定した財務基盤の構築と健全化に努めます。
- ③関係諸団体との連携強化
 - ア．越谷市、商工団体、社会福祉団体等との連携を深め、センター事業に対する理解と協力体制の構築を目指します。
 - イ．全国シルバー人材センター事業協会、埼玉県シルバー人材センター連合をはじめ、先進のシルバー人材センター等との連携交流を図り、事業の一層の発展に努めます。